



笑顔とぬくもりを大切に 寄り添いながら その人らしいくらしを支えます

グループホームかたぎはら広報誌

令和5年
秋号

NO.13

きらり★かたぎはら

〒615-8156 京都市西京区榎原百々ヶ池31-18 西京ふれあい地域福祉センター内
TEL (075) 393-2201 Fax (075) 393-2225

固い絆のかたぎはら

チームワークを発揮!

10月中旬、気温も下がりすっかり秋の気配が深まってきました。スポーツの秋ということで運動会を開催しました。



頑張るぞ〜!



始まる前には鉢巻を巻いていただきました。気持ちが高まり、表情も元気いっぱいです。



皆さんとても集中して取り組み、「運動になったわ」と感想をいただきました。また、チーム対抗戦で皆さんの親睦が深まった様子でした。



運動会の最後には、チームの結果発表行いました。そして、全員に手作りのメダルを進呈。運動会の雰囲気ですぐに、運動に消極的な方も参加することができました。これからも楽しく運動し、健康でいきましょう!!



上手く
入った♪

「玉入れ」皆さんが投げた球は、次々とカゴに吸い込まれていきます!



「PKゲーム」狙いを定めて椅子から上手に投げられていました。

グループホームかたぎはら 行事イベント

夏祭りの屋台風の会場にて昼食用の食べ物や飲み物を並べ、法被を着た職員が「どれにしますか？」と出迎えました。食べ物を受け取り、ユニットに戻って職員も含めて全員で「乾杯！」をしました。

【納涼会】

夏を楽しく



昼食後は、昔懐かしい「射的ゲーム」や「ひもで引っ張る福引」を楽しみました。



あの的を狙いましょう

射的ゲームで大盛りあがり。的に当たる度に、他の入居者様や職員で大きな歓声でした。



射的ゲーム



福引

いっぱい食べて、いっぱい笑顔！

【敬老の日】

敬老の日を祝って「お寿司」を取り寄せて昼食を行ないました。お箸が自然と進み、美味しく召し上がられていました。ジュースで乾杯しましたが、中にはビールを好んで飲まれるかたもおられ楽しい食事会になりました。



美味しいジュースで乾杯！

感謝を込めてお一人お一人に写真入りメッセージカードをお送りしました。



笹の葉タペストリーコンテストへ参加

介護用品「スマート介護」で募集している作品コンテストに作品を作成し申し込みました。環境を考えたECOをテーマとし、ペットボトルのふたやプルタブを使用しました。入居者様と完成を目指し作品づくりに取り組むことができました。

タイトル「E~COんなところに笹が!？」

~みんなの願い夜空に響け・2023 夏~

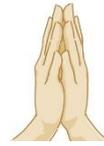


タペストリー



【大原野フジバカマ祭り】

西京区大原野南春日町で開催されたお祭りに参加しました。特産品売りの場「よもぎ石鱈」売りのお手伝いもされ、充実した一日となりました。



「おかげさまで」
の気持ちで…



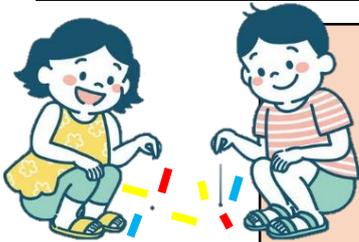
9月29日(金)

お月見法話

9月29日(金)中秋の名月の日に、ご近所のお寺の龍淵寺の住職にお月見法話をしていただきました。お話を相づちを打ちながら聞かれる方もおられました。住職より手を合わせるということはお祈りすることだけでなく、感謝をこめて「おかげさまで」をすることだと教えていただきました。



【ふれあい夕涼み】



夏の思い出

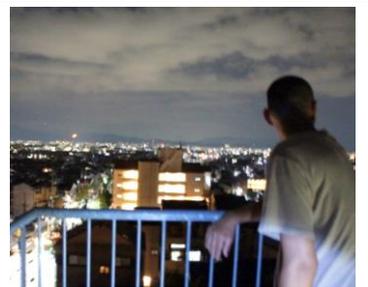
夏の夕暮れ時を楽しく過ごしましょうと題して地域との交流イベントを企画し地域の方に呼びかけを行いました。ご近所様が参加され、子供たちと一緒に花火をしたり、人形劇や送り火を觀賞しました。



「かたピー人形劇」
認知症について子どもにもわかる内容でした。



「手持ち花火」
1階駐車場で行いました。終わった後も「花火楽しかったな」と感想いただきました。



「五山送り火」
眺めの良い屋上を開放。皆さんから大好評！！

ベンチに座って日光浴♪

1階玄関前の石段に地域にお住まいの方からベンチの寄贈がありました。それに合わせ、花の植込みも行いました。

早速、入居者様と過ごす日光浴のスポットになっています。太陽の光を浴び風にあたり、他愛もない話をしながら笑顔に花が咲きます。もし施設に来られることがありますが、どんな花が咲いているかご覧ください♪



はんなり
するわ〜



『よもぎ』で 広がる色んな交流



看護学生との交流

グループホーム入居者様と京都中央看護保健大学の学生と一緒に『よもぎの茶葉の袋詰め』を行いました。これは、学生達にとっては認知症の方々と一緒に活動することで、認知症についての理解を深めることを目的としています。交流後には下記のような感想が聞かれました。

- (入居者様の声) ・楽しかった
(学生の声) ・若い人と喋れて嬉しい
・関わることで以前のイメージが変わった
・楽しそうにされていて驚いた。



入居者様の作業を見守る
学生たち



よもぎクラブさんと交流



大原野神社の茶屋で認知症サポーター養成講座を開催。

夏の「よもぎ摘み」を縁に様々な取り組みを通じて交流が深まっています。



後日、認知症の普及啓発の一環として入居者様と一緒に職員が学校へ訪問し認知症サポーター養成講座を開催しました。

祝



学生たちから敬老の日の祝いとして手作り作品が送られてきました(^)/

編集後記

本紙記載の「笹の葉タペストリーコンテスト参加」の続きとして後日、選考の結果が送られてきました。選考結果には「残念ながら受賞とはなりませんでしたが」と記載されていました。それを見たタペストリーに関わった職員から「くやしーい」と思わず声が出ていました。力を込めて入居者様と一緒に作ったという思いが伝わってきます。文章の一番下には「次回はクリスマスタペストリーコンテスト 2023 を開催します」と書かれており「次こそは！」と目が燃えていました。12月が楽しみです。 広報担当：茅原

かたぎはらケアプランセンター



「介護でお困りになっていること
ございませんか？」

私たちケアマネジャーがご相談させて頂き、介護保険サービス利用等のお手伝いをさせていただきます。お気軽にお問い合わせください。

「西京ふれあい地域福祉センター内（2F）
TEL (075) 393-2202
FAX (075) 393-2227

「かたぎはらホームページ」へのアクセスは右のQRコードからどうぞ

